

2022年度 事業報告書

事業ID:2022005940

事業名:シーバードプロジェクトの推進(プロジェクトマネジメント事業及び資機材配備事業)

期間:2022年04月01日～2023年03月31日

団体ID:0426022

団体名:(特)パーソナルウォータークラフト安全協会

事業報告書類 1/5

海に感謝 全国一斉シーバードデイ2022

事業報告書類 2/5

次世代人材育成サポートプログラム

事業報告書類 3/5

シーバードJapanカレッジ2022

事業報告書類 4/5

PR活動～イベントへの出展

4月	1～3日	ジャパンインターナショナルポートショー	神奈川県・横浜	【出展】 水上オートバイ展示/会場パトロール
	22～24日	関西ポートショー	兵庫県・西宮	【出展】 水上オートバイ展示
5月	26・27日	UMI協議会主催 メディア体験乗船会	東京都・江東区	【協力】 水上オートバイ体験乗船
6月	4・5日	九州ポートショー	福岡県・福岡	【出展】 水上オートバイ展示
	9・10日	防犯・防災総合展	大阪府	【出展】 関連団体情報・意見交換
9月	17・18日	マリナーニバル神戸	兵庫県・神戸	【出展】 水上オートバイ展示
	24日	シーバードデイ 複数拠点合同事業	博多/江の島	【サポート】 水上オートバイ展示
10月	14～16日	関西フローティングポートショー	兵庫県・西宮	【出展】 水上オートバイ展示
	16日	ビッグレスキュー 神奈川合同訓練	神奈川県・葉山町	【出展】 水上オートバイ展示

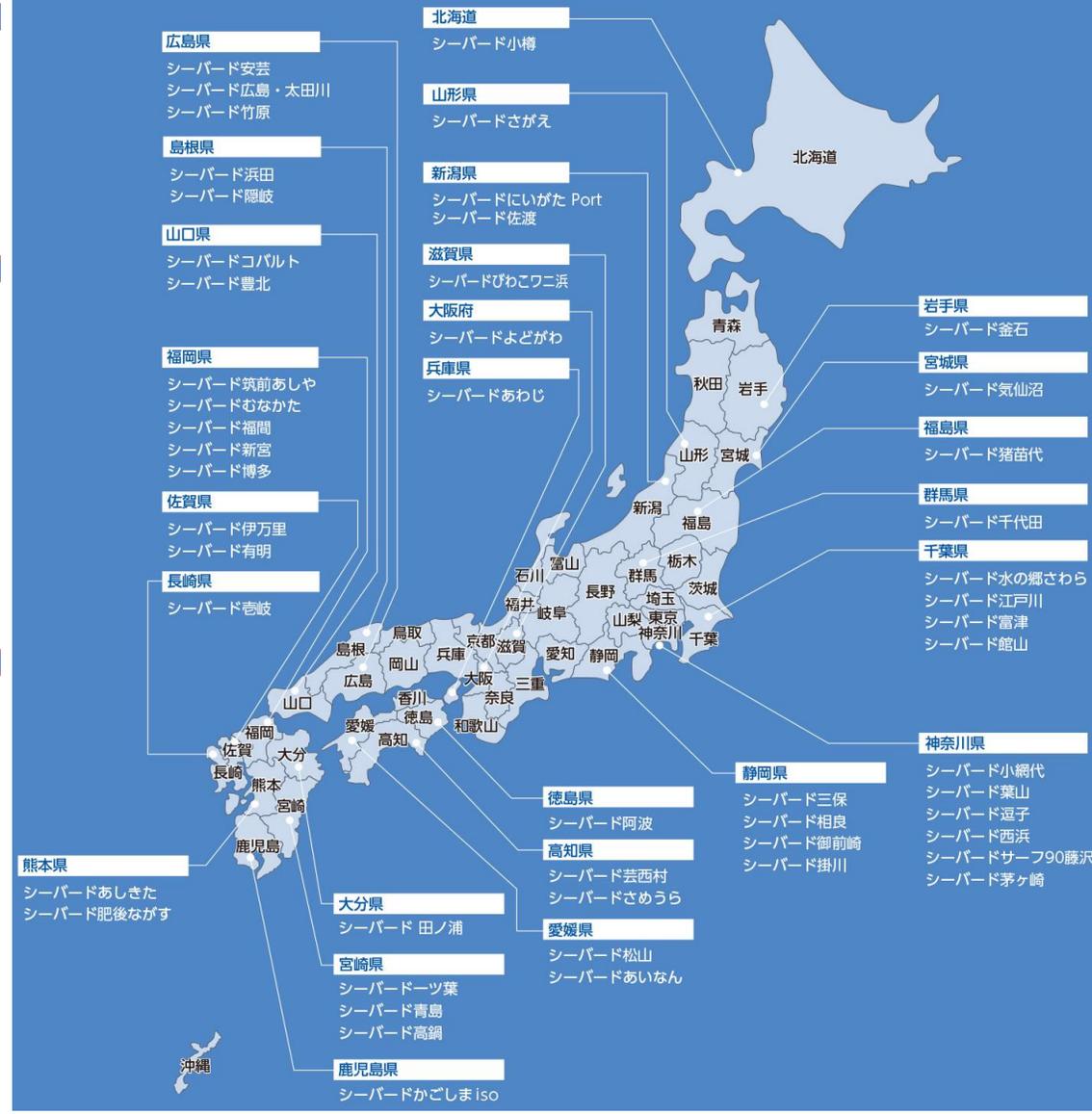
事業報告書類 5/5

活動拠点への水上オートバイ配備

はじめに

シーバードジャパン52拠点

中部・関西		
静岡県	シーバード 三保	NPO法人 PW安全協会 静岡支部
	シーバード 相良	水難救済会相良救難所本部
	シーバード 御前崎	(一社)御前崎スマイルプロジェクト・JPWA/渚の交番
	シーバード 掛川	掛川市役所商工観光課観光交流係
滋賀県	シーバード びわこワニ浜	(株) デッキワーク
大阪府	シーバード よどがわ	NPO法人 PW安全協会 大阪支部
兵庫県	シーバード あわじ	ブルーラインアワジ
中国・四国		
広島県	シーバード 竹原	(株)二葉 マリンウェア竹原
	シーバード 広島・太田川	ミヤママリーナ(株) エム・シー・エム
	シーバード 安芸	安芸ライフセービングクラブ
島根県	シーバード 隠岐	隠岐マリンスポーツ振興協議会
	シーバード 浜田	NPO法人 浜田ライフセービングクラブ
山口県	シーバード コバルト	NPO法人 コバルトブルー下関ライフセービングクラブ
	シーバード 豊北	国都ジャパン サーフサイド
徳島県	シーバード 阿波	徳島ライフセービングクラブ
高知県	シーバード 芸西村	芸西村消防団
	シーバード さめうら	NPO法人 さめうらプロジェクト
愛媛県	シーバード 松山	(有)クロスオーヴァー
	シーバード あいなん	あいなんかわらそむら海の駅 マリンスポーツ部門
九州		
福岡県	シーバード 筑前あしや	芦屋地区小型船安全協会
	シーバード むなかた	NPO法人 赤とんぼ内 宗像ライフセービング
	シーバード 福岡	福岡サンセットショアライフセービングクラブ
	シーバード 新宮	NPO法人 新宮ライフセービングクラブ
	シーバード 博多	マリクラブネイビー
長崎県	シーバード 壱岐	壱岐マリーナ
佐賀県	シーバード 伊万里	NPO法人 伊万里湾小型船舶安全協会
	シーバード 有明	太良町役場社会教育課
大分県	シーバード 田ノ浦	大分ライフセービングクラブ
宮崎県	シーバード 高鍋	NPO法人 児湯・高鍋ライフセービングスポーツクラブ
	シーバード 一ツ葉	宮崎ジェットマリン (有限会社尾崎商会)
	シーバード 青島	NPO法人 宮崎ライフセービング
熊本県	シーバード 肥後ながす	くま愛 fリーグ [町おこし隊] / 消防団長洲町9分団
	シーバード あしきた	熊本県立あしきた青少年の家
鹿児島県	シーバード かごしま iso	かごしま磯ライフセービングクラブ



シーバードジャパン 52拠点 INDEX

北海道・東北		
北海道	シーバード 小樽	石狩湾マリンレジャー安全対策連絡協議会分科会「レスキュー部会」
岩手県	シーバード 釜石	釜石ライフセービングクラブ
宮城県	シーバード 気仙沼	気仙沼ライフセービングクラブ
山形県	シーバード さがえ	NPO法人 スペース・アンド・タイム・クリエイション
福島県	シーバード 猪苗代	猪苗代湖船舶安全協会内「猪苗代湖を守る会」
関東・甲信越		
群馬県	シーバード 千代田	(有) DO SPEED
千葉県	シーバード 水の郷さわら	水の郷さわら
	シーバード 館山	館山市 経済観光部 観光みなと課
	シーバード 富津	富津岬をまもる会
	シーバード 江戸川	MG MARINE(株)
神奈川県	シーバード 小網代	(株)リビエラリゾート シーボニアマリーナ
	シーバード 葉山	NPO法人 葉山ライフセービングクラブ
	シーバード 逗子	NPO法人 湘南海上安全協会
	シーバード 西浜	NPO法人 西浜サーフライフセービングクラブ
	シーバード サーフ90藤沢	NPO法人 サーフ90藤沢ライフセービングクラブ
	シーバード 茅ヶ崎	サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ
新潟県	シーバード にいがたPort	(有)ドッグマリン
	シーバード 佐渡	(一社)SKF



救急救命と訓練

体験乗船

バトロール

PR活動

イベントサポート

自然環境保全

SEA BIRD JAPAN

52拠点
(26道府県)

登録隊員 **464名**

配備水上オートバイ: 81台

九州
15 拠点 | 110 名

中国
7 拠点 | 55 名

関西
3 拠点 | 16 名

中部
4 拠点 | 41 名

四国
5 拠点 | 50 名

東北
4 拠点 | 29 名

関東
13 拠点 | 153 名

北海道
1 拠点 | 10 名

事業ID:2022005940

事業名:シーバードプロジェクトの推進(プロジェクトマネジメント事業及び資機材配備事業)

期間:2022年04月01日~2023年03月31日

団体ID:0426022

団体名:(特)パーソナルウォータークラフト安全協会

事業報告書類 1/5

海に感謝 全国一斉シーバードデイ2022

SEA BIRD DAY 2022 海に感謝 シーバードデイ2022

「海に感謝」を主題に“遊び、学び、出会い”をした海に感謝の気持ちを込めて、海浜、水辺の清掃と水上オートバイの体験のふたつを軸に取組んでいただきました。

福岡県4拠点合同開催

~2022 ミス日本 海の日をはじめ歴代受賞者がボランティア参加

9月24日(土)、シーバード博多の活動拠点である福岡マリーナ(福岡県福岡市)を会場に、福岡県のシーバード博多、むなかた、新宮、福岡の4拠点合同で海浜清掃、水上オートバイ体験、ライフセービング体験、ヘリ救助体験の四つのプログラムで「海に感謝 シーバードデイ2022」を開催しました。この取組はシーバードジャパン本部の支援事業として、ミス日本 海の日属(さっか) 安紀奈さんをはじめ歴代の5名の受賞者がボランティア参加し、運営にあたりました。子供30名余と保護者を含め約50名が来場。海上保安庁第七管区海上保安本部、福岡ライフセービングクラブ、おやじの会:きらく会、福岡マリーナのご協力の元、実現しました。シーバードあわじの節和氏は視察を終え、「こうしたイベントを実施したい、勉強になります」との感想を述べ、拠点合同、横つながりの成果を評価されました。



●ミス日本協会 歴代受賞参加者

属 安紀奈 2022ミス日本海の日/横山 莉奈 2022ミス日本水の天使

三上 優 2017ミス日本海の日/杉浦 琴乃 2016ミス日本海の日/飯塚 帆南 2016ミス日本みどりの女神

全国では35拠点が参加

~9月24日(土)実施申請は17拠点

シーバードデイ実施推奨日9月24日の実施は17拠点、そのほかの日程では18拠点の申請・実施となりました。

◆9月24日実施申請17拠点

- | | |
|------|--------------|
| 群馬県 | シーバード千代田 |
| 千葉県 | シーバード水の郷さわら |
| | シーバード富津 |
| | シーバード館山 |
| 神奈川県 | シーバード西浜 |
| 兵庫県 | シーバードあわじ |
| 山口県 | シーバードコバルト |
| | シーバード豊北 |
| 高知県 | シーバードさめうら |
| 福岡県 | シーバードむなかた |
| | シーバード博多 |
| | シーバード福岡 |
| | シーバード新宮 |
| 大分県 | シーバード田ノ浦 |
| 熊本県 | シーバードあしきた |
| 宮崎県 | シーバードーっ葉 |
| 鹿児島県 | シーバードかごしまiso |

◆一般日実施申請18拠点

- | | |
|------|--------------|
| 北海道 | シーバード小樽 |
| 岩手県 | シーバード釜石 |
| 宮城県 | シーバード気仙沼 |
| 新潟県 | シーバード佐渡 |
| 千葉県 | シーバード館山 |
| | シーバード富津 |
| | シーバード江戸川 |
| 神奈川県 | シーバード小網代 |
| | シーバード葉山 |
| | シーバードサーフ90藤沢 |
| | シーバード茅ヶ崎 |
| | シーバード掛川 |
| 静岡県 | シーバード掛川 |
| 大阪府 | シーバードよどがわ |
| 佐賀県 | シーバード伊万里 |
| | シーバード有明 |
| 長崎県 | シーバード杵岐 |
| 熊本県 | シーバード肥後ながす |
| 宮崎県 | シーバードーっ葉 |

シーバードデイ 2022 の実施推奨日は なぜ9月24日?

【国際ビーチクリーンアップデー】アメリカ・サンフランシスコに本部のあるNGO「オーシャン・コンサーバンシー (Ocean Conservancy) が1985年(昭和60年)9月22日に実施以来、この日に近い週末に、世界各地で一斉に海岸のごみを拾い集め、その数量・種類などを調べることによって、海洋でのゴミの発生元や、地球環境への影響を調査しています。日本では「クリーンアップ全国事務局」(Japan Environmental Action Network: JEAN)が主宰しています。
=シーバードデイ2022はこの活動に賛同して実施推奨日を設定しました=



事業ID:2022005940

事業名:シーバードプロジェクトの推進(プロジェクトマネジメント事業及び資機材配備事業)

期間:2022年04月01日~2023年03月31日

団体ID:0426022

団体名:(特)パーソナルウォータークラフト安全協会

事業報告書類 2/5

次世代人材育成サポートプログラム

HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT PROGRAM 人材育成プログラム(特殊小型船舶操縦士免許取得サポート)

拠点活動の継続とさらなる活性化を目的に、主に30歳代以下を対象として水上オートバイ操縦士免許の取得サポートプログラムを展開。18拠点から申請を受けました。

◆申請一覧

	拠点	年齢	性別
北海道	シーバード小樽	33	男性
岩手県	シーバード釜石	45	男性
宮城県	シーバード気仙沼	45	女性
新潟県	シーバード佐渡	54	女性
千葉県	シーバード水の郷さわら	31	男性
神奈川県	シーバード館山	50	男性
	シーバード小網代	24	女性
		23	男性
	シーバード葉山	25	女性
	シーバード西浜	19	男性
静岡県	シーバード相良	23	男性
山口県	シーバードコバルト	19	女性
		26	男性
愛媛県	シーバード松山	22	男性
高知県	シーバードさめうら	21	男性
福岡県	シーバードむなかた	24	男性
佐賀県	シーバード伊万里	27	男性
大分県	シーバード田ノ浦	21	男性
宮崎県	シーバードーツ葉	22	女性
鹿児島県	シーバードかごしまiso	37	女性

◆申請20名の内訳

年齢

平均:29.6歳

最高齢:54歳(佐渡)

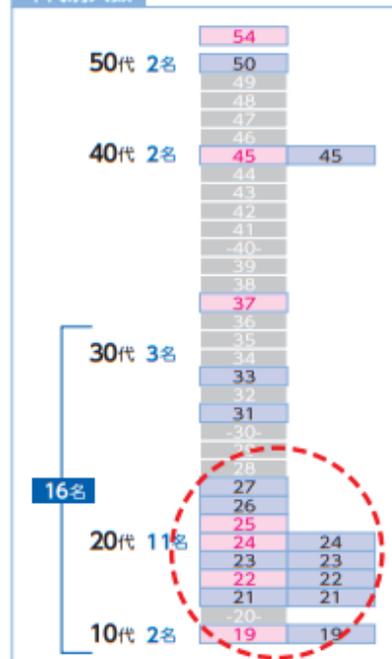
最年少:19歳(西浜/コバルト)

性別

女性:7名

男性:13名

年代別人数



事業ID:2022005940

事業名:シーバードプロジェクトの推進(プロジェクトマネジメント事業及び資機材配備事業)

期間:2022年04月01日~2023年03月31日

団体ID:0426022

団体名:(特)パーソナルウォータークラフト安全協会

事業報告書類 3/5

シーバードJapanカレッジ2022

水辺の安全・安心が軸 学びと気づきの2日間

2022年11月からシーバード隊員を対象とした『シーバードJAPAN カレッジ2022』を、仙台(宮城県)、神戸(兵庫県)、博多(福岡県)の3会場で開催しました。本事業は、水辺の安全にかかわる勉強会として位置づけ2日間にわたって実施しました。

《1日目》12月1日(木)	
14:00	開会 ご挨拶 日本財団 桔梗 哲也 様 シーバード活動 2022年度総括と2023年度の活動方針 シーバードジャパン代表 NPO法人パーソナルウォータークラフト安全協会会長 竹長 潤
14:25→ 15:20	基調講演 「次世代に繋ぐ…海を愛する方々の熱いところ」 ミス日本協会理事/ミス日本大会委員長 和田 あい 様
(休憩)	
15:35→ 15:55	「地域の海に安全文化を創る皆さんとの協働のために」 海上保安庁交通部安全対策課 課長 松浦 あずさ 様
15:55→ 16:50	パネルディスカッション 「シーバード拠点の持続と強化の為に」 (パネラー) 海上保安庁交通部安全対策課 課長 松浦 あずさ 様 ミス日本協会理事 和田 あい 様 シーバード江戸川 鈴木 英之 様 シーバード西浜 和田 桂子 様 モデレーター: パーソナルウォータークラフト安全協会 事務局 高山 浩明
17:00	閉会
◆シーバード隊員の皆様は会場出口でチェックインとなります。ルームキーを受取ってください。 シーバードジャパン主催の懇親会は行いません。外出、夕食時はコロナ感染対策をお願いします。	
《2日目》12月2日(金)	
◆シーバード隊員は朝食/チェックアウト(宿泊費以外の清算)後、荷物を持って会場へ。9時15分より入室いただけます。	
09:30	開会
→10:00	拠点活動紹介 シーバード掛川 増田 一樹 様 シーバード日福岡の報告 節和 香様/田原 幸佑 様
10:00→ 10:45	講座1 「マリンレジャーの情勢と安全の確保について」 海上保安庁交通部安全対策課 海難防止対策官 間端 啓文 様
休憩	
11:00→ 11:50	講座2 「シーバード拠点のファンを増やそう」 1: 理論編 1: 実践編 ・グループワーキング 株式会社Cheering代表 長崎 真友子 様
12:00	閉会(ご挨拶)

1日目プログラム

- 開会あいさつ 日本財団 本多真紀(仙台大会)/桔梗哲也(神戸、博多大会)
- シーバード2022報告/2023方針 竹長 潤 シーバードジャパン代表(NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会会長)
- 基調講演 和田あい ミス日本協会 理事/ミス日本大会 委員長 「海を愛する方々が 次世代に継ぐ熱いところ」
- 海上保安庁取組紹介 海上保安庁 交通部安全対策課 松浦あずさ 課長 「地域の海に安全文化を創る皆さんとの協働のために」
- パネルディスカッション
海上保安庁:松浦あずさ 海上保安庁交通部 安全対策課 課長
ミス日本協会:和田あい 理事/ミス日本大会委員長
●東日本大会 鈴木英之(シーバード江戸川)/和田桂子(シーバード西浜)
●西日本大会 節和香詩(シーバードあわじ)/辻村幸生(シーバードさめうら)
●九州大会 浦辺俊博(シーバード伊万里)/山下 丞(シーバードかごしまiso)
進行:高山浩明 NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会本部事務局

【1日目】シーバード本部からの発信

はじめに日本財団海洋事業部ご担当者様からご挨拶をいただき、水上オートバイを用いての活動への強化と今後の期待が述べられました。

続いてシーバードジャパン代表:竹長潤から2022年度の総括、2023年度の活動方針を説明。ポートショーや防災展出展による水上オートバイによる貢献活動のPR、事故報道によって社会的に注目の集まる兵庫県(須磨、明石地区)地区における水面利用健全化への協力、人材不足を主な理由に退会拠点があったという状況を報告し、本部推進のシーバードデイ、次世代人材育成の実績を踏まえ、2023年度は、免許取得など拠点サポートプログラムの充実を説明しました。

続いてミス日本協会理事・和田あい様に「海を愛する方々が 次世代に繋ぐ熱いところ」をテーマに基調講演を、4月に海上保安庁交通部安全対策課に着任された・松浦あずさ課長は交通部の新たな取組の紹介とこれまでのキャリアで培ったエピソードを披露いただきました。お二人のご講演には、「地元のことを知る、市民との交流こそが安全につながる」という共通メッセージがありました。

●パネルディスカッション

松浦あずさ安全対策課課長、和田あい様、シーバードの2拠点の4名による意見交換が行われました。シーバード公式サイトで仙台大会のレポートを掲載しています。



基調講演:ミス日本協会の和田あい理事



海上保安庁交通部安全対策課 課長・松浦あずさ

【2日目】拠点活動の発表／講座

大会二日目は拠点活動発表、海上保安庁・開端専門官からマリンレジャーの最新データをもとに事故発生などをお話いただき、広報活動に携わる長崎氏にはSNSなどを駆使しての情報発信の重要性をひも解き、さらに参加隊員が話し合い・発表するというグループワーキングを実施いただきました。

マリンレジャーにかかわる立場や環境が異なることを認識し、水上オートバイを用いた水辺の安全への貢献、ひいてはこの海を次世代につなげていくための課題などが共有されました。

【シーバードJAPAN カレッジ2022大会別 参加一覧】（敬称略）

●参加シーバード拠点

【東日本大会】北海道：シーバード小樽／岩手県：シーバード釜石／宮城県：シーバード気仙沼／山形県：シーバードさがえ／新潟県：シーバードにいがたPort／群馬県：シーバード千代田／千葉県：シーバード水の郷さわら・シーバード館山・シーバード富津・シーバード江戸川／神奈川県：シーバード葉山・シーバード西浜・シーバードサーフ90藤沢／静岡県：シーバード三保・シーバード相良・シーバード掛川

【西日本大会】滋賀県：シーバードびわこワニ浜／兵庫県：シーバードあわじ／広島県：シーバード竹原・シーバード広島・太田川・シーバード安芸／高知県：シーバードさめうら／愛媛県：シーバード松山／千葉県：シーバード富津／静岡県：シーバード御前崎 新拠点候補高知県、茨城県

【九州大会】福岡県：シーバードむなかた・シーバード新宮／長崎県：シーバード壱岐／佐賀県：シーバード伊万里／熊本県：シーバードあしきた／大分県：シーバード田ノ浦／宮崎県：シーバード一ツ葉／鹿児島県：シーバードかごしま Iso／山口県：シーバードコバルト・シーバード豊北／千葉県：シーバード富津

●ご講演（3会場とも）

海上保安庁交通部安全対策課 課長 松浦あづさ
海上保安庁交通部安全対策課 海難防止対策官 開端啓文
ミス日本協会 理事 和田あい
(株)Cheering 代表取締役 長崎真友子

●ご来賓

【東日本大会】
12月1-2日ウェスティンホテル仙台
海上保安庁 交通部 安全対策課
第二管区海上保安本部
釜石海上保安部
宮城海上保安部
気仙沼海上保安部
酒田海上保安部
福島海上保安部
(一財)関門海技協会

【西日本大会】
11月3-4日ANAクラウンプラザホテル神戸
海上保安庁 交通部 安全対策課
第五管区海上保安本部
国土交通省 神戸運輸監理部
兵庫県
明石市
神戸市
神戸市議会議員
(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会
(一財)関門海技協会
(一社)日本マリン事業協会
Kukahi
日の出マリン
株式会社ヤマハ藤田
AUTHENTIC JAPAN株式会社



海上保安庁交通部安全対策課
海難防止対策官 開端啓文様



(株)Cheering代表取締役 長崎真友子様



東日本大会 16拠点／33名

北海道	シーバード 小樽	嶋田 廣大	奥本 睦子	
岩手県	シーバード 釜石	佐々木 良衛	金野 有紗	
宮城県	シーバード 気仙沼	高橋 典久	大志田 紀子	
山形県	シーバード さがえ	佐藤 政人	鈴木 信也	
福島県	シーバード 猪苗代			
新潟県	シーバード にいがたPort	綱本 哲広	渡辺 哲	
群馬県	シーバード 千代田	金子 浩二	永尾 澄男	
千葉県	シーバード 水の郷さわら	小林 正英	堀越 裕貴	脇屋 徹
	シーバード 館山	辰野 方哉		
	シーバード 富津	古賀 健一郎	古賀 清美	
	シーバード 江戸川	鈴木 英之	淵 貴文	
神奈川県	シーバード 小網代			
	シーバード 葉山	加藤 智美	佐久間 泰介	
	シーバード 逗子			
	シーバード 西浜	石井 誠	浜地 憲太郎	和田 桂子
	シーバード サーフ90藤沢	佐藤 稔	大沼 石子	服部 一正
静岡県	シーバード 茅ヶ崎			
	シーバード 三保	松永 悟司	松下 裕亮	
	シーバード 相良	福島 稔	鶴見 進一	
	シーバード 掛川	増田 洋樹	土屋 明宏	

西日本大会 9拠点／17名 +3名

滋賀県	シーバード びわこワニ浜	北尾 吉夫			
兵庫県	シーバード あわじ	節和 香	節和 香詩	岡崎 健一	松本 義孝 安部 健一
広島県	シーバード 竹原	山村 道信			
	シーバード 広島・太田川	宮本 政明	木元 智紀		
	シーバード 安芸	多賀谷 健太郎			
島根県	シーバード 隠岐				
	シーバード 浜田				
山口県	シーバード コバルト		九州大会に出席		
	シーバード 豊北		九州大会に出席		
徳島県	シーバード 阿波				
高知県	シーバード 芸西村				
	シーバード さめうら	辻村 幸生	澤田 幾弥		
愛媛県	シーバード 松山	中井 光昭	大野 健二		
	シーバード あいなん				
千葉県	シーバード 富津	古賀 健一郎	古賀 清美		
静岡県	シーバード 御前崎	増田 洋樹			
高知県	新拠点予定 高知県	吉末 達弘	中澤 辰士		
茨城県	新拠点予定 茨城県	宮崎 康夫			

九州大会 11拠点／22名

福岡県	シーバード 筑前あしや				
	シーバード むなかた	北條 大助	小野 義明	小田 雄大	
	シーバード 新宮	田原 幸助	大北 奈々恵		
	シーバード 福岡				
長崎県	シーバード 博多				
	シーバード 壱岐	大島 恒夫	今西 正国		
佐賀県	シーバード 伊万里	吉川 洋	浦辺 俊博		
	シーバード 有明				
大分県	シーバード 田ノ浦	市原 駿一	石井 謙太郎		
	シーバード 高鍋				
宮崎県	シーバード 一ツ葉	尾崎 慎治	木許 央渚		
	シーバード 青島				
	シーバード 肥後ながす				
熊本県	シーバード あしきた	中村 誠吾	岩崎 博志		
鹿児島県	シーバード かごしまIso	濱 一洋	上村 宏明	山下 丞	
山口県	シーバード コバルト	新名 文博	松本 伊織		
	シーバード 豊北	木村 剛			
千葉県	シーバード 富津	古賀 健一郎	古賀 清美		

36拠点／72名

SEA BIRD

事業ID:2022005940

事業名:シーバードプロジェクトの推進(プロジェクトマネジメント事業及び資機材配備事業)

期間:2022年04月01日～2023年03月31日

団体ID:0426022

団体名:(特)パーソナルウォータークラフト安全協会

事業報告書類 4/5

PR活動～イベントへの出展

《●ポートショー●マリーカーニバル●UMI協議会主催事業協力●防災関連催事出展》

◆シーバードジャパン本部 主な広報関連活動

シーバードジャパンでは2022年度広報関連事業に取組み、俯瞰的視点で拠点活動を支援してまいりました。

催事への出展にとどまらず、海上保安庁(管区、保安部、保安署)、日本海洋レジャー安全・振興協会、JCI、日本マリン事業協会をはじめとするマリンレジャーに関連する諸団体とも交流を図り、シーバード活動への理解、支援を推進しています。

4月	1～3日	ジャパンインターナショナルポートショー	神奈川県・横浜	【出展】 水上オートバイ展示/会場パトロール
	22～24日	関西ポートショー	兵庫県・西宮	【出展】 水上オートバイ展示
5月	26・27日	UMI協議会主催 メディア体験乗船会	東京都・江東区	【協力】 水上オートバイ体験乗船
6月	4・5日	九州ポートショー	福岡県・福岡	【出展】 水上オートバイ展示
	9・10日	防犯・防災総合展	大阪府	【出展】 関連団体情報・意見交換
9月	17・18日	マリーカーニバル神戸	兵庫県・神戸	【出展】 水上オートバイ展示
	24日	シーバードデイ 複数拠点合同事業	博多/江の島	【サポート】 水上オートバイ展示
10月	14～16日	関西フローティングポートショー	兵庫県・西宮	【出展】 水上オートバイ展示
	16日	ビッグレスキュー神奈川合同訓練	神奈川県・葉山町	【出展】 水上オートバイ展示

●ジャパンインターナショナルポートショー2022

【会場】パシフィコ横浜／横浜ベイサイドマリナー(ともに神奈川県横浜市)

(1)出展

業界内へ>出展者、および来場者に活動を紹介。

来場者が>シーバード仕様の水上オートバイで子供たちが写真撮影し情報を拡散。

自然環境保全を>ペットボトルで海洋生物を正確に再現し、自然環境保護活動に取り組む作家・本間すみ氏の作品を展示し、ゴミ、特にプラスチックゴミの削減、自然環境保全活動をPR。

(2)水上オートバイによる警備

水面警備>体験運航される小型ヨット、カヌー、SUP、ゴムボートの安全のために、シーバード仕様水上オートバイ2台で水域警備に当たりPWCの有為性、活動をPR。

(3)棧橋警備

来場者ケア>棧橋からの落水防止、事故対応のために棧橋にシーバード隊員(救急救命技術修得者)を配置。



●地域ポートショー(関西・九州)

[関西ポートショー／関西フローティングポートショー／九州ポートショー]

安全に貢献を>関西方面での広報発信を目的に春、秋にポートショーに出展。

水上オートバイの展示、活動紹介ビデオ放映、PWCで記念写真を撮った方に、まちがいさがしカードやパンフレットを手渡し、活動をPR。



●マリンカーニバル神戸

陸上展示の水上オートバイでの記念撮影などでPR活動を行いました。台風14号の影響でポート体験等のプログラムは中止されましたが、シーバードテントには多数の親子での来訪が続き、水上オートバイにまたがってのライダー気分を楽しんでいました。



●防犯防災総合展

防犯防災にかかわる製品の展示や活動を紹介するもので、第五管区海上保安本部や大阪府消防局などシーバード活動との連携が見込まれる公務救難機関も多数出展されています。そうした関連団体ブースを訪問し、最新プロフィールなどを配布し、活動のPRと情報交換に努めました。



●海上保安庁や日本海洋レジャー安全・振興協会などの連携強化

シーバード隊員の海上安全指導員資格認定の促進をはじめ、拠点活動の現場にある保安部、保安署との日頃からの連携構築に努めています。

船舶の漂流、座礁や釣り人の落水や海水浴客が流されているなどの万が一の場面で、保安部や保安署からの要請を受け、捜索や救助活動を速やかに対応できる拠点も増えつつあります。海上保安庁をはじめ公務救難機関とのいっそうの連携を強くしていきます。



●新機軸 異なるジャンルの団体との連携

UMI協議会主催事業への協力

シーバードジャパンでは5月26日(木)、若洲ヨット訓練所(東京都江東区)にて開催された、UMI協議会主催の「海イコ メディアマリン体験会」に参加しました。UMI協議会はパーソナルウォータークラフト安全協会や日本マリン事業協会、サーフィン連盟などで構成される団体です。

当日は水上オートバイでの溺者救助デモと参加者の体験乗船プログラムを実施。タレントの前田敦子さん、ミス日本海の日の属安紀奈さんをゲストに迎え、マスコミ19社39名の取材がありシーバード活動をPRすることができました。



●ミス日本協会との連携

ミス日本協会主催コンテストのファイナリストには三つの美、すなわち「身体」「精神」「行動」の美を習得するための約30もの講座受講が義務付けられています。受賞者は「行動」における取組が継続的に実践されています。

シーバードジャパンはその理念とSDGsへの取り組みに賛同し、同協会と連携していっそうの社会貢献の成果拡大を目指すこととしました。水上オートバイのポジティブな側面を、メディアを通じて広く社会に発信する好機にもなります。

今後はシーバード日を軸に、みなさまの拠点と企業・団体、また近隣シーバード拠点との合同事業を中心に、ミス日本協会との連携プログラムを行う予定です。



事業ID:2022005940

事業名:シーバードプロジェクトの推進(プロジェクトマネジメント事業及び資機材配備事業)

期間:2022年04月01日~2023年03月31日

団体ID:0426022

団体名:(特)パーソナルウォータークラフト安全協会

事業報告書類 5/5

活動拠点への水上オートバイ配備

2022年度は水上オートバイの供給が滞り、シーバード拠点への配備も大幅な遅延がありました。製造、物流面におけるコロナ禍の影響が続くなか、シーバードでは5式の配備を計画しましたが、ようやく3拠点に追加配備ができました。



2022年4月15日新潟県
『シーバードにいがたPort』



2022年7月7日千葉県
『シーバード館山』



2022年12月15日神奈川県
『シーバード葉山』



水上バイク3艇目配備
シーバード館山 16日からパトロール

館山市の海辺をパトロールする任意団体「シーバード館山」に3艇目の水上バイクが寄贈され、7日、お披露目された。

シーバード館山は「海の安心・安全を守り、海の自然環境を後世に残していくこと」を目的に2013年7月に設立された。海の安全監視や救難、海に親しむイベントに参加するなどしている。

今回、日本財団の支援を受けたNPO法人パーソナルウォータークラフト安全協会から寄贈されたのは、カナダ・ボンバルディア製の170馬力で全長3.75メートルの3人乗り。シーバード館山顧問の辰野方哉さん(63)は「館山の海は広いので3艇目が配備されてよかったです。海開きの16日からパトロールを開始します」と話した。

今夏の海水浴場計55か所に開設
県は7日、県内18市町村

記念のカギを受け取るシーバード館山の辰野さん(右)＝7日、館山市で



水上バイク サーファー救助訓練 葉山

大波に挑むサーファーの救助に特化した訓練が葉山町であった。水上バイクで水難救助にあたる民間団体「シーバード葉山」。サーフィン人気を支えるため、季節を問わず訓練を続けている。

白波が立つ海上を時速40kmほどのスピードで水上バイクが走る。操縦士は直前で急減速し、サーファー役の男性の左手と自らの左手を絡め、引き上げた。

森戸海岸沖で14日にあった訓練の一コマ。サーファーが大波にもまれ陸に戻れなくなったという想定だ。メンバーの佐久間泰介さん(40)は「続けて来る波にのみ込まれないよ

ろ、素早く助けないといけない。水上バイクの機動力が頼りです」。

町には「小磯」と呼ばれるサーファー垂涎のエリアがあるという。代表の加藤智美さん(42)は「大きければ10メートルもの波が立つ。一軒家が頭上からかぶさるイメージ。大波にチャレンジするサーファーを守るため訓練を重ねたい」。

訓練は新たに配備された水上バイクのお披露目も兼ね、全国50余の団体を束ねるシーバードジャパン(東京)や寄贈したNPO法人パーソナルウォータークラフト安全協会(静岡)、費用を助成した日本財団(東京)ら関係者が見守った。(佐々木康之)